

紙 郵 案 起

大正二年十二月二 日起案 起案者
十二月四 日發付 發付係
發付後起 案者捺印

大臣 (齊)

次官 (齊)

副官

參事官

重務局長

藤田

藤田

先

軍令部長

次長

第四班

大正二年十二月四日

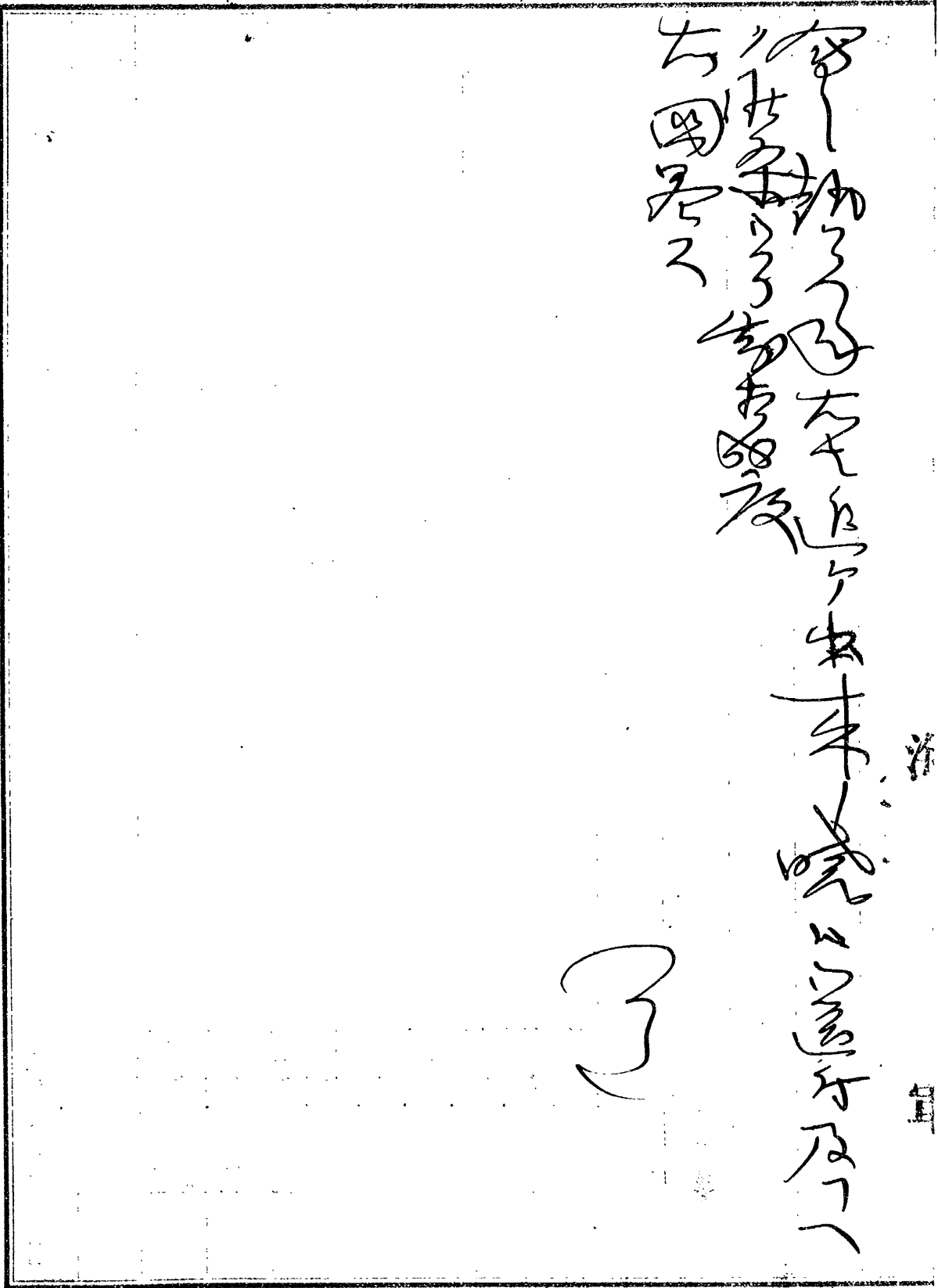
大臣官房受

官房秘書第七三三號

本館... 領... 報... 年... 〇〇〇号

軍令	水路	臨建	教育	鑑政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局、部	受月日	發月日

1105



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a list or notes. The text is written in a cursive style and is difficult to decipher. It appears to contain several lines of characters.

3

以機密送第一〇〇號

大正二年七月廿八日

外務大臣 松井廣四郎

外務省 次官

次官

海軍大臣 財部 彪 殿

保坂中佐 蒙領事官 視察報告

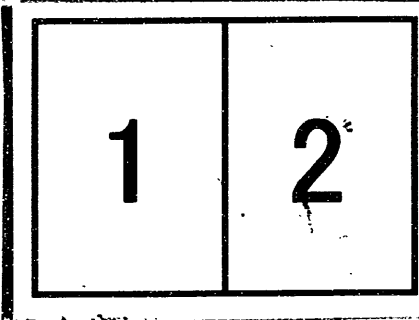
送付の方ノ件 照会

軍務局

保坂海軍中佐ハ先般新嘉坡駐在方トシテ又去ル四月内中定艦長トシテ数次蒙領印度各地巡視を成ス事ハ中佐ノ視察報告ハ在コバタビヤシ領事館ニ於テ有益ナル事ヲ寫機密第一〇〇號ノ右出書ノ上一部ハ配付ヲ

文々ニ百々ノ在リバクビヤ浮田領事ノ事ノ中ノ所ノ也
 美尤モ右ノ領事ノ事ノ中ノ所ノ也
 約テ得ル居ル事ノ由ニ共ク領事ノ事ノ中ノ所ノ也
 其ノ依リ頼ル事ノ由ニ共ク領事ノ事ノ中ノ所ノ也
 慮ス煩シ此ノ領事ノ事ノ中ノ所ノ也

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

供覽

軍務部

拜

第四班

軍令部

依昨日ハ生業結成

初之私物森少位ハ来

右ノ領ノ有格ハ酒樽

ヲ釋一物ヲ得

或謝名所ニ至

不取物

...

1109

1110

武田信玄

武田信玄

武田信玄

武田信玄

武田信玄

武田信玄

武田信玄

武田信玄

1110

九

大正二年七月九日 午後 時 分 海軍

電信局 局長

受信者 森山 友

電

電信報譯

身洋作物見本箱物四個不

若宝丸之子送しり生動物毛アリナリニ

持込候費ノ送吾廠便市野ス

両方の日保客あり念セテ

送書殿長工電送候ニテ

承諾サレタリ

軍

電

2. 7. 9

1111

昇

電報 報 務 着 信 紙

軍務局

局 着		局		名氏所居人信受				
取 扱 者 他 宅 局 電 報 部	受 付 時 分 午後 0時 3分	受 付 時 分 午後 1時 5分	七 月 三 日	第 四 拾 貳 號	報 局 報			
<p>定指</p> <p>事記</p> <p>行</p>						番 號 信	紙 數	名氏所居人信受
						大	第 四 拾 貳 號	ヨ カ
<p>電 今 夏 取 扱 之 編 入 定 業 之 強 備 任 之 編 入 包 一 佐 世 任 委</p> <p>ニ ム ケ ハ フ</p> <p>ン カ ヨ フ ニ ハ ン ダ イ ニ ヨ ビ</p> <p>ニ ム ケ ハ フ</p>						印附日信着		

七月三日 濱路長

1113

No. 157

軍令

電報

大正二年七月二十日午 二時五十八分
大正二年七月二十日午 十時五分
發信者 濱松局長 著

受信者 副官

電報譯

入港以來新聞記者來艦之退比小官
及下村少佐等七月洋視察談一部
漏之アリ為念

百局

田

田

海軍

1114

光



壽山の宛傳會



渡ノ橋州石ノ國海邊等々

右ノ提出ノ外ノ全部私

有ニテハ之ノ一經ニテ

而ノ所寄也一紙ノ展覧ニ供ス

必要ノ思入依テ所寄者ノ

一任スルニトセリ

此ノ書方何ノ持去ル也ト云フハ其書切者ノ
便宜ヲ考ルニ事ナシ心知ナリ

TOKYO, JAPAN
NANYO & CO.
SEMARANG—JAVA

郵便

Semarang 19

郵便

謹啓 書を海軍大臣閣下へ呈す
閣下益々市陸軍の故は御家奉恭賀也
此は特約の市保護を以る市西軍艦隊派遣の志を東と認りて儀は市商
民一向に専ら御誠措く能はざるは市商民
顧み當由は山哇島の中央に位し且つ蒼領に於ける支那人根據地なる
島々昨年来同種より日貨排斥の厄を蒙り格々たる檢査者し強盜仙
等の由西前記と共に今同領事の中配慮に依り特予定を更更して
當地寄港を許されたるは真の時期を得多大の好影響を興へ人心
鼓舞を一表したるは貿易の予定を為し極望の成功を収め下也
右に付市商民熱心し熱く謹啓市商民上を

大正元年四月廿四日

蒼領東印度山哇島市
在島民代表

堀林 教 衛 吉

海軍大臣齋藤實閣下

局長



軍令部

加



第四班

第一班

成



アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/